

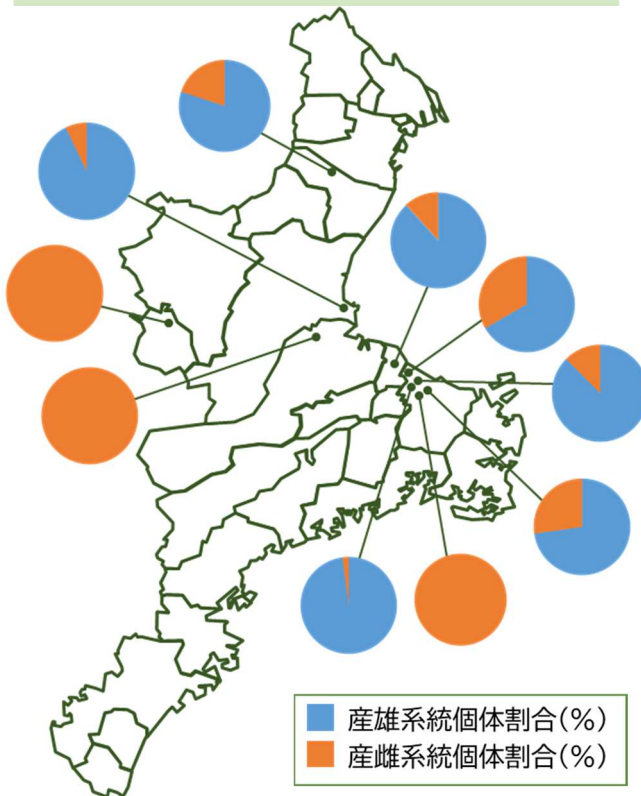
三重県のネギ産地におけるネギアザミウマの生殖型と殺虫剤感受性

利用対象：生産者、指導者

県内ネギ産地では、ネギアザミウマの殺虫剤に対する感受性低下による被害が問題となっています。産雄単為生殖系統(産雄系統)は産雌単為生殖系統(産雌系統)に比べ、殺虫剤感受性が低下傾向にあると懸念されているため、ネギアザミウマ産雄系統の分布と殺虫剤感受性の把握を行いました。

ネギ産地の産雄単為生殖系統発生分布

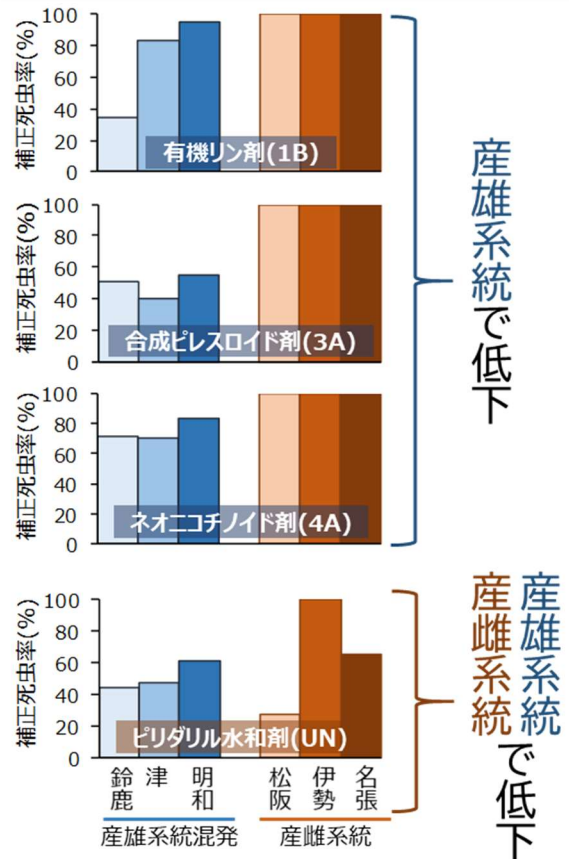
県内複数市町で産雄系統を確認



ネギアザミウマ成虫

ネギアザミウマの殺虫剤感受性

- ・有機リン剤(1B)、合成ピレスロイド剤(3A)ネオニコチノイド剤(4A)で産雄系統に対する感受性が低下
- ・ピリダリル水和剤(UN)では生殖型に関係なく感受性が低下



県内広域でネギアザミウマ産雄系統個体を確認しました。産雄系統の発生を前提とし、感受性が低下している薬剤の使用を控えるようにして下さい。

お問い合わせ先	基盤技術研究室 農産物安全安心研究課 佐々木彩乃 電話 0598-42-6360 中央農業改良普及センター 安田幸良 電話 0598-42-6323
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm 関西病虫害研究会報 2020年 62巻 p.161-163 三重県におけるネギアザミウマの産雄性単為生殖系統の発生と殺虫剤感受性